

氏名：水田宗人（1971年 産業社会学部卒）

テーマ：「現地を訪問して想うこと」

私は会津若松市の歴史と文化に長年にわたって大きな関心を持ってきました。

平安時代の会津の僧徳一と最澄、空海との長きにわたる仏教論争、蘆名氏、伊達氏、蒲生氏、上杉氏などの領主時代、江戸時代の保科松平氏の城下町としての独特の文化と幕末の悲運の歴史などを読むたびにぜひ会津を訪れたかったのですが、これまでその機会がなく、今回の応援ツアーという形でやっと実現しました。

昨年3月11日に発生した東日本大震災は、多くの人命を奪い、被災地に深い傷跡を残しました。会津若松市は他地区に比べると地震による外観的な被害は少なかったようですが、未だに風評被害の影響を強く受けています。

今回の訪問で、福島県校友会の桑原勇健会長や馬場幸蔵副会長をはじめとする校友の皆さん、地元の生産者の方などのお話をお聞きする中から、風評被害の克服と復興、そして会津の歴史と文化のさらなる発展のために、私たちは何をなすべきなのかを考え、再び会津を訪れたいと思っています。